

## イスに座って海を見る日

11月3日(木)、入野の浜でNPO砂浜美術館主催の「イスに座って海を見る日」が開催されました。

同イベントは、来場者が好きなイスを砂浜に持ってきて、イスに座って海を見るというもの。町内外から50組が参加しました。

今年も砂浜に町長室やカフェが設置され、多くの人が楽しめました。



イスに座り海を見る池田さん  
「話したい」と話しました。

同館の塩崎草太さんは、「町の誇りの1つである砂浜をより魅力的なものに見せ、皆さんに楽しんでもらうことが大切。イベントを通して砂浜を思い思いに楽しんでもらえれば」と話しました。また、高知市から参加した池田正明さんは、「昨年もこのイベントに来ていて、ホームページを見ていたら今年もやるということで来た。イスに座ってゆっくりしながら風の音や波の音、匂いを感じたりでき

## 「150年後の国宝展」入選を町長らへ報告

11月2日(水)〜令和5年1月29日(日)まで東京国立博物館で開催される「150年後の国宝展」に、大方高校2年生・入野由妃さんの作品「姿が変わる美術館の写真」が入選し、松本敏郎町長やNPO砂浜美術館へ報告しました。



受賞した作品

同展は、同博物館初の公募型展覧会であり、個人や企業から集められた自分にとつての宝物を「150年後の国宝候補」として展示するもの。入野さんは、「自分にとつての宝物は何だろうと考えた時、生まれた時から当たり前にある砂浜美術館が浮かんだ。自然が作り上げたものの形はその時にしかないもの。150年後を生きている人に、今の砂浜美術館はこんな場所だったと伝えたい」と話しました。



入野さん(右)と松本町長(左)  
入野さんの作品は、同展期間中、博物館で展示されることとす。

## 入野小学校でかまどベンチ贈呈式

中村地区建設協同組合よりかまどベンチの寄贈があり、10月11日(火)、入野小学校で贈呈式が行われました。

同組合は、「建設業Ⅱ地域防災力」を地域の方に知ってもらい、子どもたちに建設業に親しみを持ってもらいたいという思いから、町内外の小・中学校や高等学校にかまどベンチを寄贈しています。

今回寄贈されたかまどベンチは、通常時は「ベンチ」として、災害時には「かまど」として活用することができます。



贈呈式の様子

同組合の金谷光人理事長は、「地域の皆さんで活用してもらい、コミュニケーションの場となれば」と話し、また、入野小学校の黒田令子校長は、「災害時にはみんなの命を守ってくれるものとなるのでとてもありがたい。防災参観日などでも児童や保護者の方と使用する体験ができれば」と話しました。

## 大方の秋まつり・黒潮町まるごと産業祭

「第60回大方の秋まつり」が11月12日(土)・13日(日)、「第10回黒潮町まるごと産業祭」が11月13日(日)にふるさと総合センターで開催されました。

秋まつりでは、書道や絵画、保小中生の作品など、文化作品の展示があり、産業祭では、飲食や雑貨の販売などの出店がありました。



秋まつりの展示を観る来場者



産業祭の出店で買い物をする来場者

また、秋まつりにボランティアスタッフとして参加した大方中学校元気会の田中百花さん、楠目羽楽さんは、「イベントが楽しそうに参加した。多くの人が見に来てくれて嬉しい」と話しました。